

月度例会 個人		山行報告書		報告者 大矢	天夫 /	参加 メンバー	CL: 大六
山域 山名		山行日	96年4月26日(金)~ 年4月27日(土)				

山行目的 トレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)
----------------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会: 1 2	
山行: 1 リーダー	
原紙: 集会担当者	

▲: 頂上
 △: 幕营地
 □: 山小屋
 —: 尾根
 —: 沢・川
 ---: ルート
 卍: 峠
 =: 車道

1:25000地形図: 御岳高原, 御岳山

2.5万分の1 地図名:

4/26 20:20 自宅発 23:40 御岳スキー場着	11:35 剣ヶ峰 11:45 王滝
4/27 ① 8:30 ゴンドラ終点発 9:30 8合目下 9:45 スキー脱 10:00 アゼン着 10 10:30 9合目上 45 11:05 王滝小屋 10 スキーデポ	12:00 7合目 13:00 御岳スキー場着 14:00 自宅着 18:30

<山行報告> 7時頃 起きると快晴で 御岳山は目の前で噴煙を上げている。もしかると8回のうちで最高な天気かも知れない。ゴンドラ終点よりスキーをほいて登り出。暖いので上は毛の下着一枚で十分だ。8合目下の尾根に取付くあたりでスキー脱。雪の表面はくまれているが中の方はしまっていて歩みにくいので、少し上でアゼンに着いた。9合目付近で先行パーティーにすくなく追いついた。スキーを王滝小屋にデポし、頂上を目指す。剣ヶ峰は本日の一番乗り。乗鞍岳や穂高の眺望が良し。頂上でオヤジの冥福を祈り、下山にかかる。王滝小屋よりスキーで下りるか。雪がくまれている。しかも所々横に亀裂が入っているので、刺激せぬように恐る恐る斜滑降、キックダウンで下りた。7合目の樹林帯に入るとヤレヤレと胸を叩き下ろした。スキー場に入ってから、スキーヤとスキーホとの間をぬって滑った。

<報告者所見> 今回は、かき日中の気温が上がり、雪の状態があまり良く甘かった。王滝~7合目の樹林帯までは、山スキーにこだわらずに尾根通して下山した方が安全だ、たかも知らない。	フリースペース 山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に *小学校の時、夏に2回御岳に父が連れて行ってくれたのか、私の山登りの発端である。
<リーダー所見>	

確認 (リーダー) 大矢
作成 (報告者) 大矢